

## 令和5年度卒業証書授与式式辞

榛名の里に白梅が咲き誇り、春の訪れを感じられる季節となりました。

今日の良き日に、柄沢 同窓会長様、鈴木 P T A会長様のご臨席を賜り、令和5年度群馬県立榛名高等学校 第76回卒業証書授与式を挙げていただけますことは、わたくしども榛名高校職員にとりまして、大きな喜びでございます。心から御礼申し上げます。

ただいま70名の卒業生一人一人に卒業証書を手渡しました。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子さまのご卒業 誠におめでとうございます。高校時代は多感な時期でもあり、保護者の皆様も気を揉むこともあったかと思えます。けれども、ここにいる卒業生たちは、様々な困難を乗り越え立派に成長しました。改めてこれまでの3年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。卒業生の皆さんには、これまで支えてくれた家族の思いを慮って、感謝の気持ちをしっかりと伝えてほしいと思えます。

さて、卒業生の皆さん。皆さんにとって、この榛名高校で過ごした3年間は、どのようなものでしたか。3年前、期待と不安が入り交じった入学式。初めて教室で出会ったクラスの間。

しかし、前途は多難でした。新型コロナウイルス感染症は、感染拡大の波を繰り返し、学校行事も中止や規模を縮小しての開催となりました。当たり前だと思っていたことが当たり前ではなくなり、戸惑うことの多い高校生活だったのではないのでしょうか。それでも感染対策を取りながら球技大会や体育祭を行いました。榛高祭、マラソン大会、予餞会もできました。

学校行事でみんなの笑顔を見ることができ、とても幸せでした。それは全員参加を基本に「活気あふれる小さな学校 あつとほ一む榛高」を実感できたからであります。

以前みなさんにお話しました「チャレンジハイスクールは、様々な体験学習と学校行事をとおして一人一人が目標を設定し、それに向かって努力することで誰もが主役になれる学校です」と。長い人生では、楽しいことや嬉しいこともあれば、辛いことや悲しいこともあります。卒業してもチャレンジ精神を忘れず、人生の次のステージでも目標を設定し、それに向かって努力してください。

人生は、選択と挑戦の連続です。成功もあれば失敗もある。それがチャレンジです。こけたら立ち上がり、またやればいいのです。成功したら大いに喜び、失敗したら大いに泣いて反省し、しっかり学んで成長してください。

自分の人生の主役は、自分自身なのであります。

卒業してしまえば、「みそあじを心がけて」なんて言う人はいません。大切なことは何か、自分の頭で考えて、自分で判断して、行動しなければなりません。「グローバル」という言葉を聞いたことがありますか。グローバルとローカルを合わせた造語ですが、グローバルは世界的・地球規模という意味です。ローカルは地方・地域という意味です。グロ

一カルは、地域性を考慮しながら地球規模の視点で考え、行動することを表した言葉です。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るった際は、各国が情報共有して方針を定め、一人一人が感染防止対策に取り組みました。地球温暖化の気候変動対策も、同様に取り組みなければならない大きな課題です。日本国内に目を向けても社会課題は山積しており、よりよい社会の実現のため何をなすべきか、主権者の一人として考えてほしいです。

若者の政治離れが言われて久しいですが、私たちの生活と政治は大きく関係しています。選挙で投票することで政治が変わり、税金の使い道が変わって、社会が変わります。若いみなさんが、社会の担い手として、また新しい時代の開拓者として、未来に向かって新しい社会を築いていってください。

自分には何ができるか、地球規模で考え、地域で実践する。シンク・グローバル、アクト・ローカルです。自分や周りの人にとって何が幸せか、自分の目で社会を見定め、一歩踏み出してください。そして、幸せな人生を自分自身で築いてください。

最後になりますが、チャレンジハイスクールで学んだ皆さんは、多くの学校行事や体験学習に取り組み、生活力と人間力を磨きあげてきました。また、みそあじ運動を実践したり、様々な地元地域の活動に協力したりしました。皆さんの頑張りは、在校生にとって良いお手本であり、地元地域にとって良い励みになります。

今ここに3年間の高校生活を終え、頼もしい人間へと成長した姿を見て、改めて誇らしい気持ちでいっぱいです。皆さんの旅立ちをお祝いできることを心よりうれしく思います。どうか、チャレンジ精神で最後まで諦めず、精一杯頑張ってください。

おわりに、歴史と伝統のある群馬県立榛名高等学校から旅立つ皆さんが、新たに掲げる目標の達成に向かって一步一步着実に歩いていくことを願い、式辞といたします。

令和6年3月1日

群馬県立榛名高等学校 校長 天田 徹也